

翻刻 狂言曲名対照一覧

古 川 久

東京女子大学狂言研究会編

は し が き

一、本稿は明治以後翻刻された本狂言及び三番叟・風流の曲名を対照し、その所在検出に役立てようとするものである。

一、曲名は表音式五十音順に配列し、括弧内に妥当と思う漢字を記したが、その決定しかねるものは空欄にするか、または二通り示して置いた。

一、各翻刻本に於ける曲名の所在は、一冊本の場合には「○」印、二冊以上の場合には「一」「二」「三」……または「上」「中」「下」を以て示した。ただし

(イ)『謡曲百番(上)』『狂言篇(上)』は共に一冊ずつしか刊行されていないので、やはり「○」印を使う。

(ロ)『狂言集(下)』所収の天正狂言本は、とくに「天」の略号で

示した。従って「天」とあるのは、同書下巻の本文にも天正狂言本にも在ることを表す。

(イ)『狂言記』は外・続・拾(拾遺の略号)の各篇名を添えて、巻数を示した。すなわち「四」は『狂言記(巻之四)』に、「外二」は『狂言記外(巻之二)』に在ることを表す。

一、『狂言集成』『狂言選』『狂言三百番集』は、和泉流本文を採用しているが、その中例外的に他流のもの収めてある場合は、曲名の左にその旨を附記した。

一、同一または類似の曲で異名のは、曲名の左に「↓」印を以て参照するよう注記した。

一、翻刻本は左の二十一部を略号で表し、これら大蔵・鷲・和泉流の順序に配列して最後に『狂言記』を置いた。

〔略号〕 〔書 名〕

○大蔵流

虎清……大蔵虎清自筆狂言八番（川瀬一馬編）

古本……古本能狂言集（笹野堅編）

能……能狂言―岩波文庫（同右）

全集……狂言全集（幸田露伴編）

全書……能間狂言全書（伊藤喜一郎編）

選集……狂言選集（和田萬吉編）

○鷺流

独習……狂言独習全書（内藤加我編）

二十……狂言二十番（芳賀矢一編）

補遺……狂言記補遺（長谷川福平編）

五十……狂言五十番（芳賀矢一編）

百……狂言百番（斎藤香村編）

篇……狂言篇（同右）

集……狂言集（野々村戒三・古川久編）

○和泉流

大成……和泉流狂言大成（山脇元照編）

正本……新編狂言正本（野村萬齋編）

新撰……新撰狂言集（同右）

集成……狂言集成（野々村戒三・安藤常次郎編）

選……狂言選（和田萬吉・野々村戒三編）

三百……狂言三百番集（野々村戒三・安藤常次郎編）

和泉……和泉流狂言集―既刊十三冊―（吉田幸一編）

記……狂言記（外・続・拾遺とも）

一、本稿は東京女子大学教授古川久指導のもとに、生魚晴美・吉井とき子・浅生あや子・津々見孝子・平出宣子・臼井フユミ・小沼正枝・武井清子・多羅尾道子・谷田貝良子・吉村香苗・大西映子・河野ヒロ子・高橋陽子・村井宏子・山内ゆふ等同学狂言研究会員が共同作成した。

一、不備遺漏の点は御寛恕の上御教示戴きたい。

[illegible]

曲名		虎清古本能全集全書選集 独習二十補遺五十百篇集 大成正本新撰集成選 三百和泉記									
いぐい (居杭・井杭)	三	中	中	中	○						統一
いけどりすずき (生捕鈴木)											二
いしがみ (石神)	二				○						拾二
いずものふりゆう (出雲の風流)	三				○						
いせものがたり (伊勢物語)						○					
いだぬき (射狸) 「大藏流八右衛門派番外」									下		
いとまのふくろ (暇の袋) 「↓ひつくくり」											続三
いとより (糸縫)							天				
いなばどう (因幡堂)	二	中			○						外一
いぬひきざとう (犬引座頭)							天				
いぬやまぶし (犬山伏)	一	中	下	○		○	中		下	八	拾四
いまじんめい (今神明)	二										
いままいり (今参)	一	上		○		○	天上		上	四	外一
いもあらい (芋洗)							天				
いもじ (伊文字) 「↓いもじぜき」	二	中	上	○			中		上	十三	五
いもじぜき (伊文字関) 「↓いもじ」							天				
いるまがわ (入間川)	一	上	中	○		○	上	一	一	四	続五

曲名	う																
	いろは (以呂波・伊呂波)	いわいじし (祝獅子) 「大蔵流八右衛門派番外」	いわたろう (岩太郎) 「大蔵流番外」	いわはし (岩橋)	うおぜつきよう (魚説経) 「↓うおぜつぼう・うおだんぎ」	うおぜつぼう (魚説法) 「↓うおぜつきよう・うおだんぎ」	うおだんぎ (魚談義) 「↓うおぜつきよう・うおぜつぼう」	うぐいす (鶯)	うしうま (牛馬) 「↓ぎゆうば」	うしぬすびと (牛盗人)	うしばくろう (牛博労)	うじゆい (氏結) 「集成・三百は鷺流」	うたあらそい (歌争) 「↓うたずもう・どひつ」	うたいくさ (歌軍) 「大蔵流八右衛門派番外」	うたずもう (歌相撲) 「↓うたあらそい・どひつ」	うちぎた (内沙汰) 「↓おこさこ・ないぎた」	うちみ (打身)
虎清																	
古本											三						
能					二												
全集																	
全書																	
選集																	
独習																	
二十																	
補遺																	
五十																	
百篇集							○					○					○
集	天							下									中
大成						二			四								四
正本																	
新撰						一											
集成		○				○	○		○	○		○	○				○
選																	
三百													下	下			下
和泉		土										上					
記		二	外二						続五	統一							外二

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
え	うつばざる(靱猿)		一	上		○			○		○		○	天上	一		一	○	○	上	五	外五
	うまかりざとう(馬借座頭)													天								
	うめぬすびと(梅盗人)													天								
	うめのふりゆう(梅の風流)		三																			
	うらしま(浦島)「大蔵流番外」																	○		下		
	うりぬすびと(瓜盗人)		三	下	中	○	○		○		○			天下	三		一	○	○	下		続二
	うるさし(右流左止)「↓きんみつ。集成・三百は番外」		二										○					○		下		
	えさし(餌差)「↓えさしじゆうおう」		二																			
	えさしじゆうおう(餌差十王)「↓えさし。集成・三百は贅流」												○	下				○		下		拾四
	えちごむこ(越後簀)														四							
	えびすだいこく(夷大黒)「↓ふくまつり」		一	上	中	○						○	○		一	三		○		上	一	続二
	えびすのふりゆう(夷の風流)		三																			
	えびすびしやもん(夷毘沙門)「↓たかふだむこ」		一	中		○			○				○	上	一	四		○		上	一	
お	えぼしあそう(烏帽子麻生)「↓あそう・えぼしおり」													天								
	えぼしおり(烏帽子折)「↓あそう・えぼしあそう」																					一
	えんめいじぞうのふりゆう(延命地藏の風流)		三																			
	おおじだわら(祖父俵)「番外」																	○		下		

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
おはらのうめ (小原梅)	〔大藏流番外〕																	○		下		
おひやし (御冷)			二							○	○		○		四			○		上		
おまきよせ (緒巻寄)													天									
おりがみむこ (折紙簀)			一											一			○		上	三		
おんぎよくむこ (音曲簀)	〔↓ぎんじむこ〕		一	中		○							○				○		上	三		
おんなやまだち (女山立・女山賊)	〔↓きんとうざえもん〕																				外五	
おんならくあみ (女楽阿弥)	〔↓てぐるま・どんたろう〕												天									
おんだ (御田)	〔↓たうえ〕																○					
かいちゆうむこ (懷中簀)			一										天	一			○		上			
かがみおとこ (鏡男)	〔↓みやげのかがみ〕		○	二	中	中	○							二			○		下	六		
かきうり (柿売)	〔↓あわせがき・しぶがき〕																				四	
かきくいやまぶし (柿食山伏)	〔↓かきやまぶし〕												天									
がきじゆうおう (餓鬼十王)	〔大藏流八右衛門派番外〕																			下		
かきやまぶし (柿山伏)	〔↓かきくいやまぶし〕		一	中	上	○		○	○	○		○	中	三		一	○		下	八	三	
かぎゆう (蝸牛)														三		一	○	○	下	九		
かくしだぬき (隠狸)														四	四	二	○		上		外四	
かくすい	〔↓かくすいむこ〕		一																		三	

— 76 —

曲名		虎清古本能者全書選集獨習二十補遺五百篇集大成正本新撰集成選三百和泉記									
かみなり (神鳴・雷)	「↓はりたていかずち」	二	中	中	○	○	○	○	下	三	五
かりがね	「↓がんかりがね」				○						
かりだいみよう (狩大名)	「集成は番外、三百は大蔵流番外」									○	○
かわかみ (川上)	「↓かわかみぎとう・かわかみじぞう」	二							三	○	○
かわかみぎとう (川上座頭)	「↓かわかみ・かわかみじぞう」						○	○	中		
かわかみじぞう (川上地藏)	「↓かわかみ・かわかみぎとう」										
かわらしんいち (河原新市)	「↓かわらたろう」										
かわらたろう (河原太郎)	「↓かわらしんいち」	二	中	中	○				○	下	
がんあらそい (雁争)	「↓がんつぶて」										
がんかりがね (雁かりがね)	「↓かりがね」	一	上	下			○	天		○	上
かんじんひじり (勧進聖)										下	
がんだいみよう (雁大名)	「↓がんぬすびと」									○	上
がんつぶて (雁磔)	「↓がんあらそい」	一	上	中	○				一	○	上
がんぬすびと (雁盗人)	「↓がんだいみよう」	一	上	上	○		○	上			
きおん (祇園)	「↓たいこおい」	一									
きおんまいり (祇園参詣)	「大蔵流八右衛門派番外」										
さかずぎとう (不聞座頭)	「↓つんぼぎとう」	二	下	中			○	三	一	○	下

— 78 —

曲名		虎清古本能全集全書選集 獨習二十補遺五十百篇集 大成正本新撰集成選 三百和泉記													
け	くさびら(茸)「↓くさびらやまぶし」	一													
	くさびらやまぶし(菌山伏)「↓くさびら」														外一
	くじぎいにん(闇罪人)	二中下	○												拾二
	くじしんぼち(公事新発意)					○	○								
	くちまね(口真似)「↓やなぎだる」	二中	○		○		○	○		四		一	○		上
	くちまねむこ(口真似聲)	一											○		上
	くびひき(首引)	二中	○					○	天三				○		下
	くも	二													
	くもぬすびと(蜘蛛盗人)「↓ぬすびとぐも」						○	○		四			○		下
	くものいと(蜘蛛の糸)「集成は番外、三百は大蔵流番外」												○		下
	くらままいり(鞍馬参)「↓ふくわたし」	二中上	○					○	天三				○		上
	くらまむこ(鞍馬聲)							○		四			○		上
	くわのふりゆう(桑の風流)	三													
け	くりやき(栗焼)	二中	○		○	○		○	天上	四	一	二	○	○	上
	けいみよう(鶏猫)「三百は大蔵流八右衛門派番外」	三													下
	けいめい(鶏鳴)「↓けいりゆう・けいりゆうのえ」		中												
	けいりゆう(鶏流・鶏泣)「↓けいめい・けいりゆうのえ」	二中	○					○					○		上

曲名		こ																
		けいりゆうのえ (鶏泣の江) 「↓けいめい・けいりゆう」	けんぶつぎえもん (見物左衛門) 「↓ふかくさまつり」	このおうじ (恋の祖父) 「↓まくらものぐるい」	こいむこ (こい智) 「↓もらいむこ」	こうじ (柑子)	こうじたわら (柑子俵)	こうしんだけ (孝心竹) 「番外」	こうやく (膏藥) 「↓こうやくねり」	こうやくねり (膏藥煉) 「↓こうやく」	こがらかさ (小傘)	こけまつ (苔松)	こしいのり (腰祈)	ごしようぎすごろくのふりゆう (基将基双六の風流)	ごぜぎとう (瞽女座頭) 「↓きよみずぎとう」	こぬすびと (子盗人) 「↓ぬすびとのこ」	このえどのもうしじよう (近衛殿の申状)	このみあらそい (木実争)
虎清	古本能全集全書選集独習二十補遺五十百篇集大成正本新撰集成選三百和泉記																	

曲名		清	古	本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
こぶうり(昆布売)			一	上		○									天中	四	一	○			下	六	外一
こぶがき(昆布柿)			一	上		○								○	上	一		○			上	一	外三
こんかい(今悔)「↓つりぎつね」															下								二
こんぶふせ(昆布布施)																							続三
さいおう(塞翁)「↓さいほう。集成は驚流」														○				○					
ざいにん(罪人)「↓やお・やおじぞう」															天								
さいのかみのふりゆう(犀の神の風流)			三																				
さいのめ(賽の目)「↓さいのめむこ・さんかんむこ」			一	中	中	○												○			上		
さいのめむこ(賽目智)「↓さいのめ・さんかんむこ」														○									
さいほう(財宝)「↓さいおう」			一	下		○										二		○			下		
さくらあらそい(桜諍)「↓はなあらそい」																							続四
さけこうのしき(酒講式)																一		○			下	八	
さざえ(栄螺)			二								○	○		○							下		
さしでおうじ(差出祖父)「↓まごむこ」													○										
さしなわ(緋縄)「↓なわない」																							五
ざぜん(座禅)「↓じゆうやがえり・はなご」														中									
さつか(察化・咲嘩)			二	中		○							○	○		三	五	二	○		上		外五

曲名	し															
	しかぞなく(鹿ぞ啼く)	さんぼんのはしら(三本柱)	さんばそう(三番叟)〔集成・選・三百は驚流〕	さんになわらいひやくしよう(三人笑百姓)〔↓さんにんぶ〕	さんになぶ(三人夫)〔↓さんにんわらいひやくしよう〕	さんになひやくしよう(三人百姓)	さんになちようじゃ(三人長者)	さんになそう(三人僧)〔番外〕	さんになかたわ(三人片輪)	さんじやのふりゆう(三社の風流)	さんごくのひやくしよう(三国之百姓)	さんかんむこ(算勘聲)〔↓さいのめ・さいのめむこ〕	さるむこ(猿聲)	さるざとう(猿座頭)〔↓さるかえこうとう・はなみざとう〕	さるかえこうとう(猿替勾当)〔↓さるざとう・はなみざとう〕	さつまのかみ(薩摩守)〔↓あおのり〕
虎清古本能全集全書選集独習二十補遺五十百篇集大成正本新撰集成選三百和泉記		一上下○	○	天	一上下○		一		三下中○○	三	一		一	○二下中		二下上
	下	○	○上		○	天		一							○	○
		一一							下三						四	二
		○	○		○		○	○	一○				○	○	一○	二○
		上三	下		上		上	下	下三				下	下	上二	下七
	拾一					拾三			続五			続五		続四	拾五	三

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
じごくぞう (地獄僧)		二																				
ししがり (鹿狩) 「↓しゆつけかりゆうど」																						一
じしやく (磁石) 「↓ぎしやく」		三	下	中	○										三		一	○		下		続五
じせんせき (二千石)		一	上	上	○							○	天上	三				○		上	五	二
じぞうぼう (地藏坊) 「↓かさのした・じぞうまい」													天									
じぞうまい (地藏舞) 「↓かさのした・じぞうぼう」		二	下	上	○							○		一		一	○		下	七		
しちきおち (七騎落)																						一
しどうほうかく (止動方角)		二	中	下	○							○	上	四				○		上		拾四
しびり (痺)		二	中		○							○	上	四		一	○		上			外二
しぶがき (渋柿) 「↓あわせがき・かきうり」													天									
しみず (清水) 「↓おにしみず・のなかのしみず」		二	中		○		○					○	上	三		一	○		上			
しやてい (舍弟) 「↓きようだいさいかい」		三	下		○	○	○									二	○		下			
じゆうき (重喜) 「↓ちゆうき」														二		一			下	六		
しゆうくがらかさ (秀句傘) 「↓しゆうくだいみよう」		一	上	中	○							○	上	一			○		上	四		
しゆうくだいみよう (秀句大名) 「↓しゆうくがらかさ」																						統一
じゆうやがえり (十夜帰り) 「↓ざせん・はなご」													天									
しゅうろん (宗論)		二	下	上	○							○	中	一		一	○	○	下	七		一

曲名	す										す									
	虎清 古本 能 全集 全書 選集 独習 二十 補遺 五十 百 篇 集 大成 正本 新撰 集成 選 三和 百泉 記	しゅじよう(柱杖)	しゅつけかりゆうど(出家獵人)「↓ししがり。番外」	しよりようじのふりゆう(しやうれうじの風流)	しんばい(真奪)	すいれんむこ(水練簪)「大藏流八右衛門派番外」	すいろんむこ(水論簪)「↓みずかけむこ・みずひきむこ」	すえひろがり(末広がり)	すおうおとし(素袍落)	すからかわ(酢辛皮)「↓すはじかみ」	すごろく(双六)「↓すごろくそう」	すごろく(双六)「↓すごろく」	すずきぼうちよう(鱸庖丁)	すずめ(雀)「↓まつやま。大藏流八右衛門派番外」	すねはじかみ(脛薑)「↓あくたがわ」	すはじかみ(酢薑)「↓すからかわ」	すみつけ(墨つけ)	すみぬり(墨塗)「↓すみぬりおんな」		
		二																		
		一		三		一														
		中				中														
		上				上														
		○				○														
						○														

曲名		清本	虎古	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百篇	集大成	正本	新撰	集成	選集	三百	和泉	記
せ	すみぬりおんな (墨塗女) 「↓すみぬり」																		統一
	すみよしのふりゆう (住吉の風流)		三																
	せいおうぼのふりゆう (西王母の風流)		三																
	せいとう (せひたう) 「↓とびこえ。とびこえしんぼち」										天								
	せいらい (政頼)		二	中	○						○	三			○		下	七	
せ	せつぶん (節分)		二	中	中	○					○	下	三		二	○	○	下	七
	せみ (蟬)		二								○	二			○		下		
	ぜんい (善意) 「番外」														○		下		
	せんく (千句) 「大藏流八右衛門派番外」																下		
	せんじもの (煎物) 「↓おせじもの・せんじものうり」		一	上	下	○					中	二			○		下	二	
そ	せんじものうり (煎じ物売) 「↓おせじもの・せんじもの」																		拾三
	せんどうむこ (船頭簪) 「↓ふなこししゅうと・ふなわたしむこ」								○	○									
	せんにんのふりゆう (仙人の風流)		三																
	そうはち (惣八・宗八) 「↓にわかどうしん」		二	下	中	○				○		二		一	○		下	八	
	そらうで (空腕)		二	中	○	○			○	○	○	四		一	○		上		
た	たいこおい (太鼓負) 「↓ぎおん」										天	二			○		下	十	
	だいこく (大黒) 「↓だいこくれんが」										天								

— 86 —

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
たらしざとう (たらし座頭)														天								
たるむこ (樽簀) 「↓ぎんざぶろう」			一												二			○		上	四	外四
ちぎりき (千切木) 「↓ちぎりきぼう」			二	中		○								天	二			○		下	三	外二
ちぎりまぼう (乳切木棒) 「↓ちぎりき」														天		三		○		上		外三
ちくぶしままいり (竹生島参) 「↓ぬらぬら・ものまね」				上		○								天				○				
ちくぶしまもうで (竹生島詣)														天								
ちごやぶさめ (児流鎗馬)														二				○		下		
ちちのじょうのふりゆう (父の丞の風流)			三																			
ちどり (千鳥) 「↓つしままつり・はまちどり」			二	中	下	○		○			○	○	中	四	一	○	○	上				
ちやかぎざとう (茶鯉座頭) 「集成・三百は鷺流」												○	中					○		下		
ちやぐり (茶ぐり) 「↓ちやつば」													天									
ちやすあんばい (茶子味梅・茶盞拜)																		○		下		拾四
ちやつば (茶壺) 「↓ちやつば」				三	下	上	○								下	三	一	二	○	下		二
ちゆうき (忠喜) 「↓じゆうき」			二															○				
ちりずか (塵塚)							○															
つうえん (通円)			二	中	下	○							○	二				○	○	下	十	拾一
つまみざとう (月見座頭) 「三百は鷺流」							○	○		中										下		

曲名	と	て											続三	拾一	外四	記
つくつくし (土筆)	「↓どひつ」															
つくしのおく (筑紫興)	「↓ふたりおさめもの」				一上											
つしままつり (対馬祭)	「↓ちどり・はまちどり」															
つつさきえ (筒竹筒)																拾五
つとくわい (苞唧)	「↓つとやまぶし」															
つとやまぶし (苞山伏)	「↓つとくわい」															
つらとぎ (面研)																
つりおんな (釣女)	「↓つりばり」															
つりぎつね (釣狐)	「↓こんかい」				三下上											四
つりばり (釣針)	「↓つりおんな」				二											
つるかめのふりゆう (鶴亀の風流)					三											
つるし (弦師)																
つんばぎとう (聾座頭)	「↓きかずぎとう」															
ておいやまだち (手負山賊)	「三百は大蔵流八右衛門派 番外」															
てぐるま (手車)	「↓おんならしくあみ・どんだろう」															
てんぐのよめとり (天狗の婚)	「集成・三百は鷺流」															
とうじんこだから (唐人子宝)	「三百は鷺流」															
虎清古本能全集全書選集独習二十補遺五百篇集大成正本新撰集成選三百和泉記																

曲名		清	古	本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
な	とうじんずもう (唐人相撲) 「↓とうずもう」																						
	とうずもう (唐相撲) 「↓とうじんずもう」																						
	とうやく (唐薬)																						
	とくさ (木賊) 「二度掲げてある」																						
	ところ (野老)																						
	どちはぐれ (東西離)																						
	どちはずれ (共恵巡)																						
	とびこえ (飛越) 「↓せいとう・とびこえしんぼち」																						
	とびこえしんぼち (飛越新発意) 「↓せいとう・とびこえ」																						
	どひつ (土筆) 「↓つくつくし」																						
	どぶかつちり (井碯)																						
	どもり (吃)																						
な	とりぜんきよう (鳥説経)																						
	どんこんそう (鈍根草)																						
	どんだろう (鈍太郎) 「↓おんならくあみ・てぐるま」																						
	ないぎた (内沙汰) 「↓うちぎた・おこぎ」																						
	ながみつ (長光)																						

— 90 —

曲名		清	古	本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
ぬ	にしのみやまいり(西の宮参)														天								
	にないぶみ(荷文)「↓ふみさき・ふみにない」																						
	にやくいち(若市)					二	中	下	○											○	下		続一
	によいほうしゆのふりゆう(如意宝珠の風流)					三																	拾三
	にわかどうしん(俄道心)「↓そうはち」																						続四
	にわとりむこ(鶏簞)					一	中		○					○	○	天	一			○	上	三	外二
	ぬけがら(拔殻)「↓おにのぬけがら」					二	中	上	○					○	○	上	三			○	上		一
	ぬし(塗師)「↓ぬしへいろく」					二	中	下	○	○				○	中								
	ぬしへいろく(塗師平六)「↓ぬし」															二				○	○	下	拾三
	ぬすびとぐも(盗人ぐも)「↓くもぬすびと」					三																	
ね	ぬすびとのこ(盗人の子)「↓こぬすびと」					三																	
	ぬすびとれんが(盗人連歌)「↓れんがぬすびと」														天								拾一
	ぬのかいざとう(布買座頭)														天								
	ぬらぬら「↓ちくぶしままいり・ものまね」					一																	
	ぬりつけ(塗附)「↓はやうるし」															一				○	下	六	
	ねおんぎよく(寝音曲)「↓ねごえ」													○	○	上	四	二	二	○	○	上	
	ねがわり(寝代)													○									

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	獨習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
ひ	はなおりしんぼち〔花折新発意〕〔↓はなおり〕	二											○	中							八	
	はなご〔花子〕〔↓ざせん・じゅうやがえり〕	二	下	上											四			○	○	下	九	五
	はなとりずもう〔鼻取相撲〕	一	上	下	○							○						○	○	上	五	拾四
	はなぬすびと〔花盗人〕	二	下	下	○					○	○		天下	三一	一			○		下		
	はなみぎとう〔花見座頭〕〔↓さるかえこうとう・さるぎとう〕										○	○										
	はまぐり〔蚌蛤〕〔集成・三百は鷺流〕											○						○		下		
	はまちどり〔浜千鳥〕〔↓ちどり・つしままつり〕												天									
	はやうるし〔早漆〕〔↓ぬりつけ〕																					外二
	はらきらず〔腹不切〕〔↓かまばら〕	二						○					○	中二	一			○		下	七	五
	はらたてず〔腹不立〕	二	下										○	天一				○		上	三	外一
	はりだこ〔張蛸〕	一											○	天一								続一
	はりたていかずち〔針立雷〕〔↓かみなり〕																					
	はんせん〔半銭〕〔三百は鷺流〕												下							下		
ひ	ひうちぶくろのふりゆう〔火打袋の風流〕	三																				
	びくさだ〔比丘貞〕	二	中	下	○								天下	四				○		下	三	拾三
	ひくず〔簸屑〕													三				二	○	上		
	ひげやぐら〔髭櫓〕	二	中	○									中二					○	○	下	十	

曲名	虎清 古本 能全集 全書 選集 独習 二十 補遺 五十 百篇 集大成 正本 新撰 集成 選集 三百 和泉 記	ふ									
		ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ	ふ
びしやもん「↓きよみずびしやもん」		一									
びしやもんのふりゆう（毘沙門の風流）		三									
びしやもんれんが（毘沙門連歌）「↓れんがびしやもん」											
ひちようぼうのふりゆう（費長房の風流）		三									
ひつくり（引括）「↓いとまのふくろ」		二	中	中	○	○					
ひつしきむこ（引敷聲）		一	中		○	○	中				
ひとうま（人馬）		一	上	下	○						
ひとかくいか（人か杭か）「↓くいかひとか」								○	○		
ひとりまつたけ（独り松茸）「大蔵流八右衛門派番外」										下	
ひのさけ（樋の酒）		一	下	下	○			四			拾一
ひめのり（絹粥）「集成・三百は鷺流」						○				上	一
ひろいだいこく（拾ひ大黒）「大蔵流八右衛門派番外」										上	
びわかりぎとう（琵琶借座頭）「↓はくよう」											外一
びわたちばなのふりゆう（枇杷橋の風流）		三									
ぶあく（武悪）		一	上	上	○	○					
ふかくさまつり（深草祭）「↓けんぶつざえもん。大蔵流八右衛門派番外」							中	四			
ふきとり（吹取）		二						二		○	
									○		
										上	
										下	
										上	三
										上	五

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百篇	集成	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
ふくのかみ(福の神)		一上	○								○	○	上	一	五	二	○	○	上	一	外五
ふくべのしん(瓢の神)「↓はちたたき」														四			○		下		
ふくまつり(福祭)「↓えびすだいこく。大蔵流八右衛門派番外」																			上		
ふくろう(梟)「↓ふくろやまぶし」		一中下	○										天								
ふくろやまぶし(梟山伏)「↓ふくろう」																一	○		下	八	拾一
ふくわたし(福渡)「↓くらままいり」																					二
ふじまつ(富士松)		一上上	○								○	○	天上	三		一	○		上		五
ぶす(附子)「↓ぶすさとう」		一中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	上	四		一	○	○	上		外三
ぶすさとう(附子砂糖)「↓ぶす」													天								
ふみずもう(文相撲)		一上下	○								○	○		一		二	○		上	五	拾一
ふせないきよう(布施無経)		二下下	○								○	○	中	一		二	○		下	六	拾五
ふたりおさめもの(二人納め物)「↓つくしのおく」													天								
ふたりだいまよう(二人大名)		一上上	○								○	○		一		一	○		上		四
ふたりばかま(二人袴)「↓あいあいはかま・はかまぎき」		一中	○								○	○	中	一	三	二	○	○	上	四	
ふたりぎとう(二人座頭)「大蔵流番外」																	○		下		
ぶつし(仏師)		二下上											下	二		一	○		下	七	三
ふねふな(舟ふな)		二中上	○								○	○		四		一	○		上		四

曲名	虎清 古本 能 全集 全書 選集 独習 二十 補遺 五十 百 篇 集 大成 正本 新撰 集成 選 三百 和泉 記										
		一上	一中	中	下	上	中	下	上	中	下
ふなこししゅうと (舟越舅) 「↓せんだうむこ・ふなわたしむこ」											天
ふなわたしむこ (船渡舅) 「↓せんだうむこ・ふなこししゅうと」		一中	中	上	下	上	中	下	上	中	下
ふみさき (文裂) 「↓にないぶみ・ふみにない」											
ふみにない (文荷) 「↓にないぶみ・ふみさき」	〇二						〇〇	天	一三二〇	上四	
ふみやまだち (文山立・文山賊)	三下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	四
ふるのふりゅう (布留の風流)	三										
ぶんぞう (文蔵・文三)	一上	上	中	下	上	中	下	上	中	下	五
へんざいてんのふりゅう (弁才天の風流)	三										
べんてんまいり (弁天参詣) 「大蔵流八右衛門派番外」											
ほうおうのふりゅう (鳳凰の風流)											
ほうしがはは (法師が母) 「↓ほうしものぐるい」	二中	中	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ほうしものぐるい (法師物狂) 「↓ほうしがはは」											三
ほうしぱり (棒縛)	一中	中	下	上	中	下	上	中	下	上	拾三
ほうじよう 「↓ほうじようのたね」	三										
ほうじようのたね (北条種・謀生種) 「↓ほうじよう」											
ほうちようむこ (庖丁舅) 「↓りようりむこ」	一中	中	下	上	中	下	上	中	下	上	三
ぼうぼうがしら (范々頭) 「↓きくのはな」	一上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	三

曲名		虎清古本能全集全書選集獨習二十補遺五百篇集大成正本新撰集成選三百和泉記									
ま	はつけねんぶつ (法華念仏)							天			
	はねかわ (骨皮) 「↓はねかわしんぼち」	二	下				〇	〇	〇	〇	下
	はねかわしんぼち (骨皮新発意) 「↓はねかわ」										外四
	ぼんさん (盆山)	三	下					三	四	二	下
	まくらものぐるい (枕物狂) 「↓こいのおうじ」	二	中	下	〇		下	二		〇	下
	まごむこ (孫聳) 「↓さしでおうじ」						一			〇	下
	まつのせい (松の精) 「↓まつやに」										拾二
	まつたけのふりゆう (松竹の風流)	三									
	まつばやし (松囃子)						一		二	〇	上
	まつやに (松脂) 「↓まつのせい」	一	上	下	〇		一			〇	上
ま	まつやま (松山) 「↓すずめ」	二									
	まつのやまかがみ (松の山鏡)						天				
	まつゆずりは (松櫟) 「↓ゆずりは」	一	下	下	〇		〇	一	二	〇	上
	ままこ (継子)	一									
	まりぎとう (鞠座頭) 「↓まりぎとう」	二					天	三		〇	下
	まりげざとう (鞠蹴座頭) 「↓まりげざとう」										外四
	まんじゆう (饅頭) 「↓まんじゆうくい。集成・三百は 大蔵流番外」	一	下		〇					〇	下

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
も	もちさけ (餅酒)		一	上	下	○					○	○	天上	一			○		上	一	拾四
	もちのふりゆう (餅の風流)		三																		
	ものまね (物真似) 「↓ちくぶしままいり・ぬらぬら」											○	○								
	もらいむこ (貰簀) 「↓こいむこ」											○	○	一	五		○		下	三	一
	もんじゆのふりゆう (文殊の風流)		三																		
や	やお (八尾) 「↓ざいにん・やおじぞう」		二	中	下	○						○	○	三			○		下		拾五
	やおじぞう (八尾地藏) 「↓ざいにん・やお」																				
	やくすい (薬水) 「↓きくすいおうじ・ようろうすい」		○	一								○							下		
	やせまつ (瘦松)		二	中		○										二	○	○	下	三	
	やなぎだる (柳樽) 「↓くらまね」																				外一
ゆ	やまだちむこ (山立簀・山賊簀) 「大蔵流番外」																○		上		
	やるこ (遣子) 「↓なるこやるこ」		三																		
	やわたのまえ (八幡の前) 「↓やわたむこ」		一	中		○						○	○	中	一	一	○		上	四	
	やわたまつり (八幡祭) 「大蔵流八右衛門派番外」																		下		
	やわたむこ (八幡簀) 「↓やわたのまえ」											天									外三
ゆ	ゆうぜん (祐善)		二	中	下	○						○	○	二			○		下	十	拾二
	ゆきうち (雪打) 「↓ゆきうちあい」																○		下		

曲名	ら										よ									
	らくあみ (楽阿弥)	よろい (鎧) 「↓よろいはらまき」 「↓よろい」	よびごえ (呼声) 「↓集成・三百は番外」	よろい (鎧) 「↓よろいはらまき」	よねかり (米借) 「↓よねいち」	よねいち (米市) 「↓よねかり」	よこぎ (横座)	ようろうすい (養老水) 「↓きくすいおうじ・やくすい」	ようりゆうばい (楊柳梅) 「大藏流八右衛門派番外」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみやたろう (弓矢太郎) 「↓ゆみや」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみや (弓矢) 「↓ゆみやたろう」	ゆみや (湯立)	ゆずりは (櫟葉) 「↓まつゆずりは」	ゆきのふりゆう (雪の風流)	ゆきうちあい (雪打合) 「↓ゆきうち」
虎清																				
古本	二	一	一	一		三	三											三		
中能	中	上				中	下													
全集	下	下				下	下													
全書	○	○				○	○													
選集																				
独習																				
二十																				
補遺																				○
五十																				○
百篇	○	○																		
集	下				天	下				天							天	天		
大成	二	三				四								四						
正本																				
新撰																				
集成	○	○	○			○	○							○						
選																				
三白	下	上	上			下	下		下					下						
和泉	十	二																		
記	拾四	拾五				拾五	拾一													

曲名		虎清	古本	能	全集	全書	選集	独習	二十	補遺	五十	百	篇	集	大成	正本	新撰	集成	選	三百	和泉	記
り	りようりむこ(料理簪)「↓ほうちようむこ」																					拾四
れ	れんがじよとく(連歌十徳)																	○		下		
	れんがじつとく(連歌十徳)「↓れんがのじつとく」		一																			
	れんがぬすびと(連歌盗人)「↓ぬすびとれんが」		三	下	下	○								下	三	二		○		下		
	れんがのじつとく(連歌の十徳)「↓れんがのじつとく」													天								
	れんがびしやもん(連歌毘沙門)「↓びしやもんれんが」		一	上	中	○		○		○		○	上									統一
	れんじやく(連尺)		二															○		下		外三
ろ	ろうむしや(老武者)		一	中	下	○									二			○		下		拾二
	ろくじぞう(六地藏)		二										○		二		二	○	○	下		続四
	ろくにんそう(六人僧)														四			○	○	下		続三
	ろれん(呂蓮)「↓ろれんぼうず」		二	下	中							○			二		一	○		下	七	続五
	ろれんぼうず(路蓮坊主)「↓ろれん」																					
わ	わかな(若菜)		二						○	○			天上	二				○		上	九	
	わかめ(若和布)													二				○		下		